

## 平成25年度第4回企業倫理委員会 議事概要

1. 日 時 平成26年3月3日(月) 10:00～12:00

2. 場 所 中国電力株式会社 本社1号館12階特別会議室

3. 出席者

(委員長)	山下 隆	会長
(副委員長)	馬場 則行	弁護士
(副委員長・幹事)	松村 秀雄	常務取締役(コンプライアンス推進部門長)
(委 員)	今中 亘	中国新聞社 特別顧問
	磯村 定夫	中国地域ニュービジネス協議会 常任顧問
	荏田 知英	社長
	白築 透	中国電力労働組合執行委員長
(オブザーバー)	岩崎 恭久	常任監査役
(説明者)	藤井 弘昭	執行役員 コンプライアンス推進部門部長(コンプライアンス) 兼. 原子力強化プロジェクト専任部長

4. 議事要旨

### 【委員長あいさつ】

第3四半期決算では、経営効率化による改善要因はあるものの、燃料費の負担増に伴い大幅な赤字となり、通期においても2年連続の赤字を見込むなど、極めて厳しい経営状況にある。当社としては、引き続き、経営環境の改善に向けて、徹底した経営効率化に取り組むとともに、早期の原子力発電所の再稼働に向けて、全力で取り組んでまいり所存。

コンプライアンスの推進については、今後、経営環境が大きく変化していく中、お客さまから信頼を獲得するためには、社員一人ひとりによるコンプライアンスの実践が一層求められるものと考えている。このため、平成26年度は、社員がポジティブな気持ちで行動に移せるよう、また、そうした職場づくりにつながるよう、研修や支援策を充実させ、これまでの施策に工夫を加えながら取り組んでまいりたい。

また、グループ大の取り組みについては、引き続き、各社におけるコンプライアンス推進に向けた取り組みを支援していくとともに、各社取締役を構成員とする「コンプライアンス・リスク管理責任者会議」の設置や当社のコンプライアンス推進部門長による各社へのヒアリングを実施するなど、管理・指導面を一層強化していく。

### 【1. コンプライアンス推進の取り組み状況について】

島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況、コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後、議論を行った。

## <主な意見>

### 〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

- 島根原子力発電所点検不備への対応は、適切に諸施策が実施されており、社員の意識向上にもつながっているが、今後は、点検不備発生以降に入社した社員が増加していることへの対応など 社員の意識・関心が低下しないよう工夫が必要。

### 〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

- 役員による事業所訪問は、現場と本社の距離を縮める効果が期待できる非常に有意義な取り組みと評価している。大切なのは、社員から出された意見や提言を踏まえ、改善活動を継続していくことであり、現場の社員が少しでも改善を実感できるよう来年度の取り組みを期待している。
- これまでのグループ会社で発生した不適切事案を踏まえると、コンプライアンス意識が希薄と言わざるを得ない。来年度に、グループ各社の取締役を構成員とする「コンプライアンス・リスク管理責任者会議」を設置する等 グループ全体のガバナンス強化に重点を置いた改善策は、時宜にかなったものであり、実効性があるよう万全の態勢で取り組んでもらいたい。

## 【2. 内部通報制度の運用状況について】

平成25年11月～平成26年1月における内部通報制度の運用状況について説明した後、議論を行った。

## <主な意見>

- 今回は、グループ会社社員からの通報が多くを占めており、グループ全体の底上げが課題となる現在の実態を表している。  
相談窓口の調査・対応にあたっては、相談者が納得することが重要である。

以 上

(添付資料)

資 料 「コンプライアンス推進の取り組み状況について」